

各党派政務調査会長会（臨時） 開催結果

1 日時

令和6年2月8日（木）16時00分から16時19分まで

2 場所

3号館6階 第2委員会室

3 出席者

門 間 雄 司	自由民主党政務調査会長（座長）
奥 谷 謙 一	自由民主党政務調査副会長
増 山 誠	維新の会政務調査会長（副座長）
島 山 清 史	公明党政務調査会長
迎 山 志 保	ひょうご県民連合政務調査会長

（オブザーバー）

松 本 裕 一	自由民主党政務調査副会長
鏑 木 良 子	維新の会政務調査副会長
小 泉 弘 喜	公明党政務調査副会長
橋 本 成 年	ひょうご県民連合政務調査副会長

4 当日配付資料

別添のとおり

5 会議概要

○ 座長提案意見書案の趣旨説明

次の1件の意見書案について、座長から提案趣旨の説明が行われた。

（意見書案）

- 1 能登半島地震の復旧・復興を最優先に取り組むことを求める意見書案

○ 意見書案の協議

座長提案意見書案について各党派から態度を示した上、協議が行われた。

● 奥谷 自由民主党政務調査副会長

原案どおり賛成する。

● 増山 維新の会政務調査会長

第3段落4行目からの、「この点、大阪・関西万博の関連工事では、大量の人員、重機、資材などが投入されているところ、今後、仮にも大阪・関西万博の関連工事が震災復興の妨げになるのであれば、大阪・関西万博の開催時期の見直しも含めて、国として緊張感をもって対応していく必要がある。」と

の記述について、被災地で急がれるインフラ復旧作業は土木工事であるが、万博会場での土木工事はほぼ完了しており、現在は建設設備工事が行われている。民間シンクタンクやゼネコンへのヒアリングにおいても、土木工事と建設設備工事では人材や必要な機材が異なるため、万博関連工事が震災復興の大きな妨げになるとは考えられないとされている。工事フェーズが異なる震災と万博を結びつけ、開催時期の見直し等に言及するのは短絡的であると言わざるをえず、むしろ万博を延期することにより被災地で本格的に住宅の復興、復旧が期待される時期と万博での建設設備工事の時期がバッティングするとの指摘もある。

加えて、万博に言及する中において「仮にも」という文言が含まれていることについて、意見書として仮定の話に基づいて国に要望することは適当でないと考え。斎藤知事におかれても、震災の経験や今日君を共有し、災害に強い社会をつくるというメッセージを、万博の機会に発信することが重要だと述べられており、我が会派としてもこの考えに賛同する。

以上述べたように土木工事と建設工事を混同しているため、能登半島地震の復興と大阪関西万博という関連の薄い2つの事象を結びつけており、該当箇所は削除すべきと考え修文を求める。

具体的には、第3段落3行目「甚大かつ広範囲に及んでおり、」を「甚大かつ広範囲に及んでいる。」とし、以下7行目「対応していく必要がある。」までの文言を削除し、題名及び最下欄にある文言について、国の進める土木工事は他地域の防災減災において重要であり、並行して進めていくことも必要であることから、「最優先で」という文言を削除すべきと考え、修文を求める。

● 島山 公明党政務調査会長

能登半島の復旧復興は当然最優先で大事なことであるが、並行して関西万博も国としてしっかり期日までにやり遂げようと、業界団体も含めて一生懸命進められている中で、「見直し」については少し修文をいただきたい。

国として責任感を持って対応していくということについては当然賛同するが、「この点、大阪・関西万博の関連工事では、大量の人員、重機、資材などが投入されているところ、今後、仮にも大阪・関西万博の関連工事が震災復興の妨げになるのであれば、大阪・関西万博の開催時期の見直しも含めて」とある部分を、「現在、大阪・関西万博の関連工事により大量の人員、重機、資材などが投入されているが、震災復興の妨げにならないよう」という修文を提案する。

● 迎山 ひょうご県民連合政務調査会長

原案通り、概ね賛成する。万博への言及について少し意見もあったが、「最優先に取り組む」ということに関する修飾的な話であると理解しているので、

これで差し支えないと考える。

● **奥谷 自由民主党政務調査副会長**

万博関係の部分で削除の修文意見を頂いたが、前提として、「仮にも大阪・関西万博の関連工事が震災復興の妨げになるのであれば」という条件付きの話であり、決して万博の延期を求める内容の意見書ではないことを確認したい。

また、土木工事と建設工事が違うという意見について、復旧・復興する上で今のフェーズは土木工事であるのかもしれないが、今後、建設工事が必要なフェーズも出てくると思われ、フェーズによっては工事の重なりも想定されるのではないかと考える。

「仮にも」ということが適当でないという意見もあったが、未来を予測して、「仮にこういうことがあったら、こうすべきだ」ということを主張していくのも、議会政治としての役割ではないかと考える。

● **増山 維新の会政務調査会長**

「フェーズが違うけれども重なってくる可能性がある」という意見に関しては、そういうことがあったとしても、なぜ万博のみを紐づけるのか、他の工事が復興に影響するというのであれば、万博に限らず国の進める土木工事を全体で見るときで、万博だけを特別に記述する必要がないのではないかと考える。

「仮にも」というのであれば他の工事も想定され、網羅的に表記することは難しいとしても「国において他で進める土木工事が震災復興に影響を与えることがあるならば」というような書きぶりであればまだ受け入れられるが、万博に特定するというのは受け入れ難い。

● **島山 公明党政務調査会長**

提案した「現在、大阪・関西万博の関連工事により大量の人員、重機、資材などが投入されているが、震災復興の妨げになることがないように、国として緊張感をもって対応していく必要がある。」という修文意見は、世の中の様々な意見を聞く中で、殊更に「見直し」を含めるのではなく、懸念される部分は「最優先に」という部分で担保するという事で、座長提案の意図も汲んで考えている。

● **奥谷 自由民主党政務調査副会長**

万博単体で取り上げることについては、客観的に見て万博の工事に大量の人員、重機、資材が投入されている状況が明白であると思われるため、単独で取り上げる必要があると考えている。復旧・復興と万博のどちらも進めて

いくことは、本県も関連事業を進めているところで、当然賛同するが、仮にも妨げになるのであれば、やはり被災者の生活をいち早く取り戻すことが優先されると考える。

○ **意見書案の協議継続**

座長より、協議の結果を踏まえて合意に向けた座長調整案を示すこと、2月13日(火)12時40分から臨時会を再度開催し、結論を得ることが提案され、承認された。

○ **その他**

傍聴人からの写真撮影等許可願を受理し、異議なく許可された。